

## 豊橋市政の令和元（平成31）年10大ニュース（時系列）

令和元年12月11日現在

### ○2020年度前期の連続テレビ小説が「エール」に決定（2/28）

2020年春から放送の連続テレビ小説が、豊橋市歌などの作曲家、古関裕而さんと豊橋市出身で妻の金子さんをモデルにした「エール」に決定。豊橋ふるさと大使の平田満さんや松井玲奈さんの番組出演も発表され、豊橋ゆかりの人物を演じます。

### ○のんほいパークに新たな魅力が続々と登場（3/16）

間近でキリンの顔が観察できる高さ3.1mの観覧デッキを新設。4月21日には、餌を探しながら移動するゾウが観察できる国内最大級の放飼場が整備され、「ゾウビューイングシェルター」では夢中で食事をするゾウを間近で観察できます。

### ○豊橋市民病院「手術センター棟」の開設（4/1）

外科手術と血管内手術を同時にできるハイブリッド手術室や高機能な内視鏡手術室を備えた手術センター棟が完成。東三河の中核病院として患者にやさしい治療を提供し最新の医療技術に対応します。

### ○ホストタウンでつながるリトアニア共和国との交流（4/23～5/4）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン相手国「リトアニア共和国」のゴールボール代表が、大会に向けたトレーニングキャンプを豊橋市で実施。また、6月27日には、同国のパネヴェジス市とパートナーシティ協定を締結しました。

### ○道の駅「とよはし」が開駅（5/26）

国道23号豊橋東バイパスの七根IC付近に豊橋初の道の駅「とよはし」が開駅。飲食店なども備えた地域振興施設「Tomate（トマト）」もオープンし、10月13日には早くも来場者100万人を達成しました。

### ○小学校で算数の英語イマージョン教育（6/20）

算数の授業を英語で行うイマージョン教育が八町小学校でスタート。児童は、覚えた英語で積極的に発言し、楽しみながら英語とふれあっていました。

### ○豊橋市がSDGs未来都市に選ばれる（7/1）

内閣府が、豊橋市提案の「豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり」を2019年度のSDGs未来都市に選定。地域とともに、世界とともに、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて取り組んでまいります。

### ○豊橋市出身の鈴木亜由子選手が東京五輪マラソン代表に（9/15）

豊橋市出身で陸上選手の鈴木亜由子さん（日本郵政グループ）が、日本代表選考レースで東京2020オリンピックの日本代表に内定。こども未来館「ここにこ」で行ったパブリックビューイングに約300人の方が応援に駆け付け、代表に内定すると大歓声があき起こりました。

### ○羽田八幡宮文庫旧蔵資料の中に歴史上貴重な資料の存在を確認（11/6）

羽田八幡宮所蔵の戦国武将などのものとされる書翰が、本物であることを確認。信長の大阪石山本願寺攻め、秀吉の朝鮮出兵などの出来事が書かれており大変貴重なものです。

### ○第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会で豊橋市チームが5度目の優勝（12/7）

愛・地球博記念公園内の周回コースを舞台に、県内の全市町村から54チームが参加。豊橋市チームは、心をひとつにタスキをつなぎ、見事な走りで6年ぶり5度目の優勝を飾りました。